

令和7年度大河原教育事務所管内 公民館等巡回訪問実施報告



令和8年3月

宮城県大河原教育事務所

目 次

令和 7 年度大河原教育事務所管内公民館等巡回訪問実施要項	1
公民館等巡回訪問日程	2
管内公民館等の特色ある事業紹介	3
公民館等巡回訪問を終えて	1 0
公民館運営評価シート集計表	1 7
公民館運営評価シート評価平均値	1 8
公民館運営評価シート「集計表」及び「評価平均値の結果」から	1 9
研修に関するアンケート結果	2 1
大河原教育事務所管内地域連携担当研修会 要項等	2 3
大河原管内公民館等一覧	2 7

(資料)

各種事業等のチラシ紹介

令和7年度大河原教育事務所管内公民館等巡回訪問実施要項

宮城県大河原教育事務所

- 1 目的 「公共の福祉」に貢献し、学習・文化活動の拠点、地域社会のキーステーションとしての各市町の公民館等を訪問し、実態を把握することにより、管内の生涯学習・社会教育の振興、充実に寄与する。
- 2 内容 (1) 各市町公民館等の現状と課題についての情報収集
(2) 公民館等主催事業等についての実態把握と関係資料の収集
(3) 公民館等評価に関する情報の交換
(4) その他（地域学校協働活動の進捗状況等）
- 3 対象 大河原管内の公民館・センター等
（地区公民館・自治センター・まちづくりセンター等も訪問します）
- 4 訪問期間 10月～12月の訪問希望日（各市町と調整）
- 5 訪問期日の決定
教育事務所と各市町で訪問期日等の調整を行い、「公民館等訪問予定一覧」を作成し、当該市町教育委員会に通知する。
- 6 訪問者 大河原教育事務所 教育学事班 生涯学習担当 社会教育主事
- 7 訪問時間 訪問時間を1施設につき45分～60分を目安とし、訪問を計画する。
- 8 その他 (1) 基幹公民館（センター）を訪問対象としますが、地区公民館・まちづくりセンター・自治センター等もできるだけ訪問したいと思います。
(2) 教育事務所の事業等実施日を除いた訪問可能日をもとに、所定の様式により希望訪問日を事務所に報告願います。後日、時間調整を行います。
なお、日程によっては土日の主催事業開催時の訪問視察も可能ですので、希望される場合は、別途御相談ください。
(3) 訪問については、該当市町の社会教育関係職員の同行をお願いします。
(4) 事業内容等が分かるリーフレット、チラシ等の資料を提供願います。
なお、訪問のための新しい資料を作成する必要はありません。

令和7年度大河原教育事務所管内 公民館等訪問日一覧

	月 日	曜	訪問市町	訪問先公民館等	訪問予定時刻等
1	9月19日	金	七ヶ宿町	七ヶ宿町公民館	「成人講座 レザー × 真鍮プレートのコ インケースづくり」
2	10月3日	金	丸森町	金山まちづくりセンター	10:00～
3	10月7日	火	角田市	市民センター	14:00～
4	10月23日	木	大河原町	中央公民館	10:00～
5	11月11日	火	村田町	中央公民館	14:00～
6	11月12日	水	川崎町	川崎町公民館	14:00～
7	11月13日	水	白石市	中央公民館	10:00～
8	11月13日	水	蔵王町	蔵王町公民館 (ふるさと文化会館)	13:30～
9	11月18日	火	柴田町	船迫生涯学習センター 槻木生涯学習センター 船岡生涯学習センター	13:30～ 14:30～ 15:30～

管内公民館等の特色ある事業紹介

事業名	わんぱく教室		
市町名	白石市	開催場所	白石市中央公民館 他
実施期日	6 月～12 月(6 回)		
【主な内容】			
○趣 旨	体験学習などを通じて、青少年の健全育成を図るとともに、個々の創造性や集団での協調性、自主性を養い、生活力を身に付ける。		
○対 象	市内の小学 5 年生、6 年生(30 名)		
○内 容	開校式、ジュニア・リーダーと遊ぼう、わんぱく農業・食育教室、わんぱく大冒険キャンプ、わんぱく土器づくり教室、わんぱく環境教室、わんぱくクリスマス会、閉校式		

事業名	子育て応援！親子ふれあい教室		
市町名	白石市	開催場所	白石市中央公民館
実施期日	① 6月1日（日） ② 7月27日（日） ③ 10月5日（日） ④ 12月7日（日） ⑤ 2月8日（日）		
【主な内容】			
○趣 旨：子育て世代の保護者を対象に実施。子育てから少し離れ、自分を見つめ直す時間を作ることで、心に余裕をもった子育てにつなげる。			
○対 象：親子（未就学児～小学生とその親）			
○内 容：①フォトアルバム作り ②クッキーづくり ③ムーブメント遊び ④ベビーマッサージ・キッズマッサージ ⑤ムーブメント遊び			
※なお、3回目以降の内容は参加者の皆さんからの声を参考に して決める。			

事業名	親子ヨガ教室		
市町名	白石市	開催場所	白石市中央公民館
実施期日	小学生対象：8月5日(火)		
【主な内容】			
○趣 旨：ヨガで心身共にリフレッシュしながら、受講生相互の親睦を図る。			
○対 象：市内の小学生(親子含めて)20組			
○内 容：ヨガの実技			

事業名	家庭でできる料理講座		
市町名	白石市	開催場所	白石市中央公民館
実施期日	5 月～8 月(計 4 回)		
【主な内容】 ○趣 旨：家庭でできる料理を作りながら、受講生相互の親睦を図る。 ○対 象：市民 20 名 ○内 容：料理			

事業名	童謡講座		
市町名	白石市	開催場所	白石市中央公民館
実施期日	5月～3月（計22回）		
【主な内容】			
○趣 旨：童謡唱歌の背景に触れ、深く知るとともに、楽しく歌いながら受講生相互の親睦を図る。			
○対 象：市民			
○内 容：講演・合唱			

事業名	コーヒー講座		
市町名	白石市	開催場所	白石市中央公民館
実施期日	5月8日(木)に2回		
【主な内容】			
○趣 旨：コーヒーについて、座学や実際に入れ方などを学びながら、受講生相互の親睦を図る。			
○対 象：市民12名			
○内 容：コーヒーに関する学びや実技			

事業名	公認会計士による会計講座「やってみよう！だがしやさん」		
市町名	角田市	開催場所	角田市市民センター
実施期日	①7月28日(月) ②8月4日(月) ③9月15日(月・祝)		
【主な内容】			
○趣 旨	：「仕入れ」「利益」など、身近にあるお金のことについて、楽しく学びながら、実際にだがしやさんを開いてみる。		
○対 象	：市内4・5・6年生（3年生以下保護者同伴で参加可）		
○内 容	：①モノの仕入れと販売の話 ②プレ駄菓子屋を開店してあそぼう ③「だがしやさんになろう」（子どもフェスティバルに参加）		

事業名	蔵王のお宝探検隊！蔵王カードで蔵王の穴場ツアー		
市町名	蔵王町	開催場所	蔵王町ふるさと文化会館
実施期日	① 6月28日(土) ② 7月13日(日) ③ 8月23日(土) ④ 9月13日(土)		
【主な内容】			
○趣 旨：住民等 15 名程度を募集し、公民館事業として「蔵王カードで蔵王の穴場ツアー」を実施。蔵王町の穴場を見学したり、ツアー参加者で、第 4 回の行き先を企画したりできるツアーを開催する。			
○対 象：蔵王町にお住まいの方、蔵王町に通勤または通学されている方			
○内 容：町民だけが知っている!? 蔵王の隠れた魅力を体感できる穴場ツアーを開催。企画した住民のイチ押しスポットを参加者と共に楽しむ。また、参加した方には、蔵王町カードのレアカードももらえる。			

事業名	ございんホール　わくわく探検ウォークラリー		
市町名	蔵王町	市町名	蔵王町
実施期日	8月3日(日)		
【主な内容】			
○趣　旨：夏休みを活用し、いつもは入ることができない、ございんホールの裏側を案内する。			
○対　象：町内在住の子ども園・幼稚園児童及び小学生　30名			
○内　容：舞台に立ったり、スポットライトを点けたり、普段はみることができないところを見る。			

事業名	ま～じゃん教室		
市町名	蔵王町	開催場所	蔵王町ふるさと文化会館
実施期日	11月15・22・29日、12月13・20日、1月17・31日 2月14・28日、3月7日 いずれも土曜日		
【主な内容】			
○趣 旨：「飲まない・吸わない・賭けない」健康マージャンの基本的なルールやマナーを学び、対局する。倫理的思考・コミュニケーション能力・集中力を養う。			
○対 象：小学3年生から小学6年生及び高齢者（60歳以上） ※障がいがある方も参加可能			
○内 容：麻雀に関するルールやマナーを学ぶとともに、小学生、高齢者、障がいのある方との多世代交流。			

事業名	働く女性応援講座「料理教室」		
市町名	七ヶ宿町	開催場所	七ヶ宿町高齢者センター
実施期日	① 6月13日（金） ② 8月29日（金） ③ 11月21日（金）		
【主な内容】			
○趣 旨	健康福祉課と公民館の共催事業。働く女性に対して応援するための企画を計画し実施。女性同士での語らいの場にもなっている。		
○対 象	20代～50代の女性		
○内 容	「代謝の良い身体づくり」「体の中を老化（酸化・糖化）させない食生活」「骨粗鬆症を予防する食習慣」をテーマに、一生使える食事管理スキルを身に付ける。		

事業名	働く女性応援講座「心と体が整うヨガ教室」		
市町名	七ヶ宿町	開催場所	七ヶ宿町高齢者センター
実施期日	① 5月8日(木) ② 7月10日(木) ③ 9月10日(水)		
【主な内容】			
○趣 旨：健康福祉課と公民館の共催事業。働く女性に対して応援するための企画を計画し実施。女性同士での語らいの場にもなっている。			
○対 象：町内在住または在勤の20代～50代の女性			
○内 容：ヨガ、ピラティス体験			

事業名	わくわく親子昆虫教室		
市町名	大河原町	開催場所	大河原町中央公民館
実施期日	① 5 月 24 日（土） ② 6 月 22 日（日） ③ 7 月 27 日（日）		
【主な内容】			
○趣 旨：昆虫の生態観察や採集をとおり、自然や生き物への興味・関心を持たせる機会を作る。親子で参加することにより、交流の場や学びの場を提供し、夏の思い出としてもらう。			
○対 象：町内在住の小学生の親子			
○内 容：昆虫採集を 3 回行うほか、標本づくりも行う。			

事業名	土曜子供塾		
市町名	大河原町	開催場所	大河原町中央公民館
実施期日	毎月 2 回 第 1・3 土曜日		
【主な内容】 ○趣 旨：学習塾に通うことができない子供に学習できる場所を提供する。 また、公民館を学校・家庭以外の居場所の一つとして活用する。 ○対 象：町内の小学 4～6 年生、中学 1～3 年生 ○内 容：各教科の自学自習。公民館に問題集も用意しており、わからない ところは大学生の支援員に教えてもらうこともできる。			

事業名	沼部地区夏祭り		
市町名	村田町	開催場所	村田第二小学校　グラウンド
実施期日	8月2日（土）		
【主な内容】			
○趣　旨：消防、警察、自衛隊の協力を得ながら夏祭りを実施することで、 地区民の防災意識を高める。			
○対　象：町民(成人 20 名)			
○内　容：地区民による夏祭り			

事業名	暮らしを彩る教室		
市町名	柴田町	開催場所	船迫生涯学習センター
実施期日	① 7 月 2 日（水） ②7 月 30 日（水） ③9 月 10 日（水） ④10 月 8 日（水）		
【主な内容】			
○趣 旨：心を癒し豊かな生活を送るための衣食住について、創作活動を通じてながら楽しく学び、地域住民のつながりを深めてコミュニティ形成を図る。			
○対 象：町内在住の成人			
○内 容：フラワーアレンジメント、ハーブ染の体験、簡単薬膳とオリジナル健康茶づくり、素材を味わうパンづくり。			

事業名	大人の料理教室		
市町名	柴田町	開催場所	船岡生涯学習センター
実施期日	①11 月 22 日(土) ②12 月 6 日(土)		
【主な内容】			
○趣 旨	：お酒にあう料理の基本的な技術を学びながら、調理実習による作る喜びや仲間づくりを通して、食生活の大切さについて理解を深める。		
○対 象	：町民		
○内 容	：11 月 22 日(土) はワインに合う料理、12 月 6 日(土) は日本酒に合う料理を行った。		

事業名	子ども音楽鑑賞		
市町名	柴田町	開催場所	①西住公民館 ②船岡生涯学習センター
実施期日	①7月24日（木） ②7月25日（金）		
【主な内容】			
○趣 旨	：子供たちに良質な生の音楽に触れる機会を提供することで、子供たちが音楽の楽しさや魅力を知り、聴く力を養い音楽に対する感性和豊かな心を育む。		
○対 象	：①西住小学校児童 40 名程度 ②小学校児童 40 名程度		
○内 容	：①西住公民館利用団体（大正琴）を講師に大正琴の体験会。 ②参加者みんなで作る絵本と音楽の演奏会。		

事業名	仙台フィルハーモニー管弦楽団によるコンサート		
市町名	柴田町	開催場所	槻木生涯学習センター
実施期日	3月1日（日）		
【主な内容】			
○趣 旨：優れた活動を行っているプロの音楽家の生演奏を鑑賞する機会を提供する。			
○対 象：町民			
○内 容：仙台フィルハーモニー管弦楽団によるコンサート			

事業名	正藍染体験		
市町名	川崎町	開催場所	森の美術館（旧腹帯分校校舎）
実施期日	7月27日（日）		
【主な内容】			
○趣 旨	伝統的な染色技法である「正藍染」の工程を学び、自分の手で染める体験をとおして、藍染の歴史と奥深さを知る。		
○対 象	町民（中学生以上）		
○内 容	伝統的な正藍染による藍染体験を行う。		

事業名	陶芸教室		
市町名	川崎町	開催場所	川崎公民館
実施期日	①9月18日（木） ②9月19日（金）		
【主な内容】			
○趣 旨	町民のニーズに対応した公民館趣味の講座として「陶芸教室」を開設し、余暇の有効利用と趣味の拡大を目指し、受講者の親睦と交流を図る。		
○対 象	町民		
○内 容	自分で作る喜びを味わっていただく機会として陶芸を実施している。今年度は「片口鉢」の作成を行った。		

事業名	秋の豊穰祭・ミニ文化祭		
市町名	丸森町	開催場所	丸森町金山まちづくりセンター駐車場
実施期日	11月8日（土）		
【主な内容】			
○趣 旨	地区民の文化活動の披露・農産物直売等を行う秋祭りを開催し、幅広い世代が参加しやすいイベントとして実施している。		
○対 象	町民		
○内 容	豊穰祭では、田林神楽の披露や中学生によるドライフラワーや小物販売、農産物加工品の直売など多くの企画を実施している。また、ミニ文化祭は、地区民による手作り作品を展示するなど、多くの地域住民が参加している。		

事業名	地区民講座（成人教育）		
市町名	丸森町	開催場所	丸森町金山まちづくりセンター
実施期日	12月9日（火）		
【主な内容】			
○趣旨	これまで女性講座として、女性にフォーカスした内容だったが、男女分け隔てなく参加できるように名称を変更して実施。		
○対象	金山地区民の成人		
○内容	内容としてプリザーブドフラワー教室やヨガ教室などの実施を視野に入れて計画しているが、今回の講座は演劇鑑賞を実施する。		

公民館訪問を終えて

数年にわたる新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、私たちの生活から「集まること」や「触れ合うこと」を一時的に奪いましたが、この空白の期間があったからこそ、私たちは改めて、物理的な場所を共有し、顔を合わせて言葉を交わすことの価値を再認識することとなりました。

第2期宮城県教育振興基本計画（改訂版）の生涯学習課主要施策において、生涯学習推進の拠点である公民館は、人々の自発的な学習活動を通して、交流や体験活動の場、芸術文化に触れあう場としての機能を充実させていく必要があることが述べられています。また、公民館の役割は、これまでの「知識や教養を習得する場」という枠組みを超え、現在は「地域課題の解決」や「ウェルビーイング（心身ともに満たされた状態）の向上」を支える拠点としての機能が強く求められており、デジタル化の推進、不登校児童や孤立しがちな高齢者の居場所づくり、さらには災害時における避難所としての機能強化など、「地域コミュニティのレジリエンス（回復力）を高めるエンジン」として、大いに期待されています。

コロナ禍後の公民館は、従来の固定サークル活動中心の利用から、住民同士の対話や地域課題の解決を目的とした活動へと変化し始めています。宮城県内では、白石市の斎川公民館における住民主体のまちづくり活動や、大崎市西古川地区公民館の地域課題ワークショップなど、住民参加型の社会教育実践が展開されています。これらの事例は、公民館が地域住民の交流や協働を促進する「対話の場」として機能し始めていることを示しています。

ここからは、実際の公民館訪問でお聞きしたものと事前調査票の内容を踏まえ、各公民館の参考となるよう現状と課題を整理し、今後の取組の方向について考察いたします。今年度の公民館訪問をとおして、各地域の公民館が学校や地域と連携しながら、様々な社会教育活動に取り組んでいる様子がよく伝わってきました。公民館は地域住民の学びの場としての役割だけでなく、学校と地域を結び付ける重要な拠点として機能しており、地域全体で子供を育てる環境づくりに大きく貢献していることがうかがえます。各館において多くの工夫や努力が積み重ねられており、社会教育の現場で大変意義のある活動が展開されています。

まず、学校との連携については、非常に多様で積極的な取組が行われていることが分かります。

白石市中央公民館では、学校からの要請に応じて市の家庭教育支援チームを派遣し、「親の学びプログラム」の出前講座を実施しており、家庭教育を支える重要な支援として大変意義のある取組となっています。保護者が子育てに関する知識や視点を学ぶことで、家庭

での関わり方がより豊かになり、子供たちの健やかな成長につながっている点が大きな特徴です。また、文化財の出前講座を通して地域の歴史や文化の魅力を伝える活動は、子供たちがふるさとへの理解と愛着を深める貴重な機会となっています。さらに、ニュースポーツの移動教室を実施し、普段の授業では体験しにくい多様なスポーツに触れる機会を提供している点も評価できます。

角田市市民センターでは、学校からの支援要請に応じてボランティアを派遣するとともに、地域住民の協力を得ながらミシンボランティアなどの調整を行っています。このような取組は、市民センターが地域の人材と学校をつなぐ重要な役割を果たしている好例といえます。専門的な技能や経験を持つ地域住民が教育活動に関わることで、子供たちの学びがより豊かで実践的なものとなっている点も大きな成果です。さらに、地域学校協働ネットワーク会議を開催し、学校と地域の関係者が情報共有や課題の検討を行っていることは、相互理解を深めるとともに、継続的で安定した連携体制の構築につながっています。

七ヶ宿町では、「七ヶ宿町教育推進協議会」主催による「学校音楽祭」を開催しています。町内の保育所・小学校・中学校・高等学校の全ての子供たちが一堂に会して参加するこの行事は、発達段階を越えた交流の機会を生み出す大変貴重な取組となっています。この音楽祭は地域住民にとっても大きな意味を持っています。子供たちの真剣な姿や生き生きとした表現に触れることで、地域全体で子供の成長を見守り、支えていこうとする意識の醸成につながっています。まさに「町全体で子供を育てる」という七ヶ宿町の教育の理念が具体的な形となって表れている取組です。

これらの取組は、学校教育だけでは補いきれない学びを地域が支えている好例であり、公民館が学校・家庭・地域をつなぐ役割を果たしていることを示しています。多様な学びの機会を提供することで、子供たちの興味・関心を広げるとともに、地域全体で子供を育てる意識の醸成にも寄与しており、今後も継続・発展が期待される取組です。

地域の活動拠点としての取組や協働力育成の取組も見られます。

村田町中央公民館では、小学生が自宅を離れ、子供たちだけで自由に過ごすことにより、「気づき」や「新たな発見」を得ることを目的とした「発見合宿」を実施しています。本事業は、あらかじめ細かく活動内容を決めるのではなく、子供たち自身の主体性に委ねることで、一人一人の考えや行動を大切にしたい取組となっています。公民館は「集う場」としての環境を提供し、担当者は必要に応じて助言を行うというスタンスをとっています。この関わり方は、子供たちの安心・安全を確保しつつ見守るものであり、子供たちが自ら考え、判断し、行動する力を育む上で大変意義のあるものです。

このように、「発見合宿」は単なる宿泊体験にとどまらず、子供たちの主体性や社会性、自立心を育むとともに、仲間との関係づくりを深める大変価値のある取組です。公民館が「見守り、支える場」として機能している点も含め、今後の社会教育事業の一つのモデルとして、さらに充実・発展していくことが期待されます。

地域団体との連携を積極的に進められている取組も多く見られ、地域の教育力を高める上で重要な役割を果たしています。

蔵王町では、地区公民館事業において、子ども会育成会、母親クラブ、公民館の三団体による共催事業が実施されており、それぞれの立場や強みを生かした協働の取組が展開されています。このような連携は、事業の充実だけでなく、地域内のつながりを深める効果も期待できます。特に、宮地区公民館で実施している「小野さつき訓導七夕飾り会」のように、学校や地域団体と協力しながら、地域の歴史や人物を顕彰する行事を継続している点は注目に値します。子供たちが地域の偉人や文化に触れる機会となるとともに、郷土への誇りや愛着を育む大変意義深い取組であり、地域文化の継承という観点からも非常に価値のある実践といえるでしょう。

丸森町金山まちづくりセンターでは、地域の実りを祝う秋の豊穰祭を実施しており、多くの地域団体が参画することで、地域一体となったにぎわいの創出が図られています。特に注目されるのは、中学校と連携し、企画や運営の一部を生徒に担ってもらう取組であり、4名の中学生が祭りの中の一つの企画を主体的に担当し、実施した点です。生徒にとっては自ら考え行動する貴重な学びの機会となり、地域にとっても若い世代の力を実感できる意義深い取組となっています。また、地域の小学校が閉校となった中でも、地元に住する児童の作品を出品するなど、子供たちの活動の様子を地域住民に伝える工夫がなされています。これにより、地域全体で子供たちを見守り育てる意識の醸成にもつながっています。こうした取組は、地域団体との連携にとどまらず、多世代が交流する場として機能し、地域のつながりや絆を一層強める大変価値のある実践といえるでしょう。

地域の学習活動の拠点としての機能を充実させる取組も多くみられます。柴田町船岡生涯学習センターでは、コロナ禍明けの新規事業として、夏休み期間中の子供向けに「子供音楽鑑賞会」を開催しています。今年度は、公民館の利用団体に講師として協力いただき、大正琴の鑑賞と演奏体験を実施しました。さらに、地元のNPO法人に講師を依頼し、照明やセットを効果的に活用した演出と、ゲーム性を取り入れた絵本の世界を体感できる没入型の内容で行われ、子供たちは楽しみながら音楽や表現に親しむことができました。「世代間交流」「感性を磨く機会の提供」「コロナ禍で学校行事の中止や縮小を経験した子供たちに自己表現の場を提供すること」を目標として実施されています。多様な主体との連携により、子供たちの興味や関心を引き出す工夫が随所に見られる点も大きな特徴です。

大河原町中央公民館では、「わくわく親子昆虫教室」を開催し、地域の自然環境を活かした体験的な学びの機会を提供しています。本教室では、昆虫の生態観察や実際の採取活動を通して、子供たちが自然や生き物への興味・関心を高めることができるよう工夫されています。図鑑や教室での学びだけでは得られない「本物に触れる体験」は、子供たちにとって大変貴重であり、探究心や観察力を育む契機となっています。親子で参加する形式で実施されていることから、活動を通じて親子の会話や関わりが自然に生まれ、家庭では得

がたい交流の時間を創出しています。共に発見し、驚き、学び合う経験は、親子の絆をより一層深めるとともに、自然への畏敬の念や命の大切さを感じる情操教育にもつながっています。本事業は自然体験と家庭教育を結びつけた意義深い取組であり、公民館が持つ「学びの場の提供」「人と人をつなぐ」「地域資源を活かす」といった機能が十分に発揮されている点において、非常に充実した実践といえるでしょう。

川崎町公民館では、「陶芸教室」を開催し、地域住民にものづくりの楽しさと創作の喜びを体験する機会を提供しています。本講座は人気が高く、毎回多くの参加者が集まるなど、地域に根ざした事業として定着しています。講師には地域にお住まいの方を迎えており、身近な存在から直接学べることで参加者の安心感や意欲の向上につながっています。陶芸という活動を通して、参加者は土に触れながら自分だけの作品を形にする過程を楽しみ、集中力や創造力を高めるとともに、完成したときの達成感を味わうことができます。参加者同士の交流も自然に生まれ、世代を超えたつながりが広がる場ともなっています。地域の人材を活用したこの取組は、学びと交流を同時に実現する意義深いものといえるでしょう。

これらの取組は、地域の人材や団体の力を生かしながら、多様な学びと体験の機会を創出している点は、公民館が持つ「つなぐ」「育てる」「広げる」といった機能が十分に発揮されている好例であり、社会教育の拠点としての役割が一層充実していることを示しています。

このように、各公民館では学校や地域団体と連携しながら、多様な社会教育活動が展開されています。しかしながら、事前調査票からは、公民館運営におけるいくつかの課題も見えてきます。特に多くの館で挙げられているのが、参加者の固定化や若い世代の参加不足、施設の老朽化、デジタル化への対応など、共通する課題も見えてきました。

公民館の講座は平日の日中に開催されることが多く、仕事や子育てで忙しい世代にとっては参加が難しい場合があります。また、長年参加している方々が中心となることで、新しい参加者が入りにくい雰囲気になってしまうことも考えられるとのことでした。

さらに、少子高齢化の進行により地域の人口が減少し、事業の参加者数が年々減少しているという声も多く見られます。一方で、近年は移住者が増えている地域もあり、こうした新しい住民との交流をどのように進めていくかも今後の重要な課題となっています。また、施設の老朽化が進み、修繕にかかる費用が大きな負担となっていることや、施設予約システムなどのデジタル化を進めたいものの利用者の多くが高齢者であるため導入が難しいといった課題も挙げられています。加えて、職員の在籍期間が短く、社会教育事業の経験を持つ職員が少ないことや、業務量が多く新しい事業を企画する余裕がないという声もあり、人的体制の面でも課題が見られます。

こうした課題を踏まえ、今後の公民館運営においては、いくつかの工夫や視点が参考になると考えられます。まず、若い世代の参加を促進するためには、講座形式の事業だけで

なく、体験型や交流型の事業を取り入れることが有効です。例えば、白石市中央公民館で実施している「子育て応援！親子ふれあい教室」では親子で参加できる体験活動やキッズマッサージなど、子育て世代の参加につながりやすい工夫がされています。また、角田市市民センターで実施している「公認会計士による会計講座『やってみよう！だがしやさん』」のように、外部の講師を積極的に活用するなど地域団体やボランティアと協力しながら実施することも、新たな参加者を獲得する一つの方法です。

移住者が増えている地域では、新しい住民と地域住民が交流できる機会を設けることも大切です。七ヶ宿町中央公民館では、町の健康福祉課と共催で「働く女性応援講座『料理教室』」を実施しており、料理をとおして元来の定住者と移住者や女性同士の交流の場が創出され、地域コミュニティの活性化にもつながっています。

地域の人材を積極的に活用することも重要です。大河原町中央公民館で実施している「土曜子供塾」では、町内在住の元教員や大学生支援員などが参加する子供たちを支援しています。地域の人材が公民館活動に関わることで、事業の内容がより豊かになり、公民館が地域の学びの拠点としてさらに充実していくことが期待されます。

公民館における利用申請等のデジタル化は、近年、全国的にも、また宮城県内においても着実に進んでおります。これは単に手続を便利にするだけでなく、利用者の皆様の利便性向上と、職員の業務負担の軽減を同時に実現する、大変重要な取組です。

これまで多くの公民館では、窓口や電話による予約・申請が中心でした。しかし、インターネットを活用することで、「いつでも・どこでも」手続ができる環境が整いつつあります。お仕事や家庭の都合で時間が限られている方にとっても、利用しやすい仕組みへと変わってきております。

全国の事例を見ますと、神奈川県藤沢市では、予約から支払い、さらには施設の利用に必要な手続までを一体的にデジタル化し、窓口に行かずにすべてを完結できる仕組みが整えられています。このような取組は、公民館の将来像を示すものとして大変参考になります。一方で、埼玉県戸田市のように、オンラインと従来の窓口手続を併用しながら、無理のない形で段階的にデジタル化を進めている自治体もあります。特に公民館は高齢者の利用も多いため、このような丁寧な移行は非常に重要です。

宮城県内に目を向けますと、柴田町では、公民館や体育施設を含む公共施設の予約システムを導入し、予約や利用者情報を一元的に管理しています。これにより、24時間いつでも予約が可能となり、住民サービスの向上と職員の負担軽減の両立が図られています。また、岩沼市では、スマートフォンから空き状況の確認や予約ができる仕組みを整備し、時間や場所にとらわれない利用環境を実現しています。

これらの事例から見えてくる大切なポイントがいくつかあります。まず一つ目は、「段階的に進めること」、二つ目は、「利用者の立場に立つこと」、そして三つ目は、「使い方を支

える取組」です。公民館でスマートフォン講座などを開催することで、地域住民のデジタル活用能力を高めることにもつながります。

公民館は、地域の皆様の学びや交流を支える大切な拠点です。その公民館がデジタル化を進めることは、単なる効率化にとどまらず、地域全体の利便性や活力の向上にもつながっていきます。利用者お一人お一人を大切にしながら、地域の実情に寄り添ったデジタル化を進めていただければと思います。

今回の公民館訪問からは、各公民館が地域の実情に合わせながら、学校や地域団体と連携し、さまざまな工夫を重ねて活動を進めていることがよく分かりました。公民館は地域における学びと交流の拠点として、今後も大きな役割を担っていくことが期待されています。社会環境の変化に対応しながら、地域の特性を生かした事業を展開し、誰もが参加しやすい公民館づくりを進めていくことが、今後のさらなる発展につながるものと考えられます。各館の取組が互いの参考となり今後の活動の充実につながることを期待いたします。

訪問を通じて見えてきたのは、公民館が単なる「建物」ではなく、人々の想いが交差することで体温を宿す「地域の交差点」であるという事実です。コロナ禍という断絶を経験したからこそ、私たちはよりしなやかで、より開かれたコミュニティの形を、今まさに公民館という場を通じて描き直す必要があります。

最後になりますが、訪問に際しまして、各公民館長様・センター長様をはじめ職員の皆様方には、資料やアンケートを作成いただくとともに、貴重なお話を聞かせていただきました。管内市町教育委員会教育長様、生涯学習主管課長様、生涯学習課職員の皆様方の御理解と御協力に対しまして深く感謝申し上げます。

公民館運営評価シート集計表

■趣旨

・公民館運営評価シートにより、公民館運営に関する、目標・事業・組織・事務等の項目で自己評価することで、各公民館の実態や職員の意識を把握し、管内全体の現状と課題を把握するために実施した。

■調査対象及び調査方法等について

- ・調査対象 管内公民館・生涯学習センター等
- ・調査方法「公民館運営評価シート」の各項目について、各施設長・職員が1～4の評価基準により自己評価を行う。
- ・調査期間 令和7年10月3日～令和7年11月18日 ・有効回答数（N）＝ 67

《評価基準》 4：当てはまる 3：やや当てはまる 2：あまり当てはまらない 1：改善が必要である。

	項 目	評 価 の 観 点	4	3	2	1	計
目 標	目標①	公民館全体運営の目標は、地域の実態や課題に対応して立てられている。	19	47	1	0	67
	目標②	公民館全体運営の目標は、地域住民に理解されている。	11	44	12	0	67
	目標③	公民館全体運営の目標は、公民館職員に周知・徹底されている。	21	42	4	0	67
	計 画	公民館の目標を具現するために、年間計画が立てられている。	37	27	3	0	67
事 業 の 実 施	事業展開①	公民館事業を展開するとき、地域の実態や課題等を把握する方策がとられている。	18	39	10	0	67
	事業展開②	公民館事業は、地域住民の願いやニーズに対応している。	13	50	4	0	67
	事業展開③	公民館事業を展開する際、ねらいを明確にし、その充実が図られている。	14	47	6	0	67
	事業展開④	学級・講座をサークル化につなげる学習プログラムの開発に努めている。	13	28	21	5	67
	事業展開⑤	子育て・家庭教育について学習する機会の提供を図っている。	11	37	16	3	67
	連携・協力	関係団体及び諸機関等との協力体制を構築し、十分に連携が図られている。	15	45	7	0	67
	情報の提供	公民館活動の情報を多様なツールを活用し地域住民に提供している。（HP、広報誌の工夫）	18	36	10	3	67
組 織 ・ 運 営 ・ 事 務	組 織	職員相互の連絡調整がよくなされ、協力し合い、責任を持って職務を遂行している。	24	40	3	0	67
	研 修	自ら資質・能力を高めるための研修の必要性を自覚し、研究・研修に意欲的に取り組んでいる。	8	40	15	4	67
	会 議	各種会合の企画・運営は適切に行われている。	22	43	2	0	67
	予 算	公民館運営のために職員間の共通認識のもとで、予算編成や執行にあたっている。	26	40	1	0	67
	施設・設備①	教育委員会との連携を密にし、施設・設備の適切な整備と計画的な物品等の購入に努めている。	22	36	8	1	67
	施設・設備②	住民がいつでも気軽に集まれるスペースの確保、ロビー等の各種展示の工夫に努めている。	27	35	5	0	67
	事 務	文書の収受・発送・保管は適切である。	34	31	2	0	67

公民館運営アンケート・評価平均値

■趣旨

- ・公民館運営評価シートにより、公民館運営に関する、目標・事業・組織・事務等の項目で自己評価することで、各公民館の実態や職員の意識を把握し、管内全体の現状と課題を把握するために実施した。

■調査対象及び調査方法等について

- ・調査対象 管内公民館・生涯学習センター等
- ・調査方法「公民館運営評価シート」の各項目について、各施設長・職員が1～4の評価基準により自己評価を行う。
- ・調査期間 令和7年10月3日～令和7年11月18日 ・有効回答数（N）＝ 67

《評価基準》 4：当てはまる 3：やや当てはまる 2：あまり当てはまらない 1：改善が必要である。

※下線の値は前年度から数値が0.3以上変化した設問

	項 目	評 価 の 観 点	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07
事業の実施	目標①	公民館全体運営の目標は、地域の実態や課題に対応して立てられている。	3.3	3.3	3.3	3.2	3.4	3.2	3.3
	目標②	公民館全体運営の目標は、地域住民に理解されている。	3.0	2.9	2.9	2.9	2.9	2.8	3.0
	目標③	公民館全体運営の目標は、公民館職員に周知・徹底されている。	3.3	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
	計 画	公民館の目標を具現するために、年間計画が立てられている。	3.6	3.5	3.5	3.4	3.5	3.4	3.5
事業の実施	事業展開①	公民館事業を展開するとき、地域の実態や課題等を把握する方策がとられている。	3.0	3.0	3.0	3.1	3.1	2.9	3.1
	事業展開②	公民館事業は、地域住民の願いやニーズに対応している。	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	事業展開③	公民館事業を展開する際、ねらいを明確にし、その充実が図られている。	3.0	3.2	3.2	3.1	3.0	3.0	3.0
	事業展開④	学級・講座をサークル化につなげる学習プログラムの開発に努めている。	2.5	2.7	2.8	2.7	2.8	2.7	2.7
	事業展開⑤	子育て・家庭教育について学習する機会の提供を図っている。	2.7	2.8	2.9	2.9	2.8	2.8	2.8
	連携・協力	関係団体及び諸機関等との協力体制を構築し、十分に連携が図られている。	3.1	3.2	3.2	3.1	3.1	3.2	3.1
	情報の提供	公民館活動の情報を多様なツールを活用し地域住民に提供している。（HP、広報誌の工夫）	<u>2.8</u>	<u>3.1</u>	3.2	3.0	2.9	2.9	3.0
組織・運営・事務	組 織	職員相互の連絡調整がよくなされ、協力し合い、責任を持って職務を遂行している。	3.4	3.4	3.3	3.3	3.4	3.3	3.3
	研 修	自ら資質・能力を高めるための研修の必要性を自覚し、研究・研修に意欲的に取り組んでいる。	3.0	2.9	2.8	2.7	2.8	2.8	2.8
	会 議	各種会合の企画・運営は適切に行われている。	3.5	3.3	3.3	3.2	3.3	3.2	3.3
	予 算	公民館運営のために職員間の共通認識のもとで、予算編成や執行にあたっている。	3.5	3.4	3.4	<u>3.1</u>	<u>3.4</u>	3.3	3.4
	施設・設備①	教育委員会との連携を密にし、施設・設備の適切な整備と計画的な物品等の購入に努めている。	3.4	3.2	3.3	3.1	3.3	3.1	3.2
	施設・設備②	住民がいつでも気軽に集まれるスペースの確保、ロビー等の各種展示の工夫に努めている。	3.4	3.2	3.3	3.1	<u>3.4</u>	3.2	3.3
	事 務	文書の収受・発送・保管は適切である。	3.6	3.5	3.6	3.5	3.6	3.4	3.5
平 均			3.2	3.2	3.2	3.1	3.2	3.1	3.1

公民館運営アンケートの「集計表」及び「評価平均値」から（考察）

1 全体として

全体の平均値は、これまでの過去6年間、3.1～3.2 ポイント程度で推移しており、大きな変動は見られず、概ね安定した水準を保っていることが分かります。評価は4段階で行われていることから、平均値が3前後で推移していることは、「やや当てはまる」と評価された項目が多いことを示しており、管内の公民館において基本的な運営は概ね適切に行われているものと考えられます。

特に、計画、組織、会議、予算、事務など、運営の基盤となる項目では比較的高い評価が続いており、日常の運営体制が安定している様子がうかがえます。一方で、事業内容や職員研修など一部の項目では平均値が3を下回るものも見られ、取り組みの状況に差があることや、今後の改善の余地があることも読み取れます。

また、項目ごとに見ると、18項目中10項目が前年度を上回り、1項目で下回る結果となりました。さらに、87.9%の方が肯定的な回答（「4：当てはまる」「3：やや当てはまる」）をしており、これは昨年度より5ポイント上昇しています。

このことから、これまでの取り組みにより一定の水準は維持されているものの、今後さらに公民館運営の充実を図るためには、課題となる項目の改善や新たな取り組みの工夫を進めていくことが重要であると考えられます

2 目標について

目標に関する項目では、全体として比較的高い評価が継続しており、公民館運営の方向性が適切に設定されていることがうかがえます。

「地域の実態や課題に対応して目標が立てられている」という項目は、R01からR07まで3.2～3.4の範囲で推移しており、大きな変動は見られません。今年度につきましては、肯定的な回答が98.5%となっており、多くの公民館において地域の状況や課題を踏まえた目標設定が継続して行われていることが分かります。

また、「目標が職員に周知されている」という項目も3.3前後で安定して推移しており、今年度の肯定的な回答は94.0%となっています。このことから、目標が職員間で共有されている状況がうかがえます。目標の共有は、公民館運営を円滑に進めるうえで重要な要素であり、この点については管内の多くの施設で適切に取り組まれているものと考えられます。

一方で、「目標が地域住民に理解されている」という項目は、R01が3.0であったのに対し、R06では2.8まで低下し、R07では3.0に回復していますが、他の目標項目と比べるとやや低い水準となっています。今年度の肯定的な回答は82.1%となっており、高い水準ではあるものの、他の項目と比べるとやや低い結果となっています。

3 事業の実施について

事業の実施に関する項目では、全体として平均値が3前後で推移しており、公民館事業

が地域の学習活動や交流の場として一定の役割を果たしていることがうかがえます。

「地域の実態や課題の把握」については、R01 の 3.0 から R07 の 3.1 へとわずかに上昇しており、地域の状況を踏まえながら事業を展開しようとする取り組みが継続されていることが分かります。

また、「住民ニーズへの対応」や「事業のねらいの明確化」についても 3.0 前後で安定して推移しており、多くの公民館で一定の水準の事業運営が行われていることがうかがえます。

一方で、「講座をサークル化につなげる学習プログラム」に関する項目は、R01 の 2.5 から R07 の 2.7 とやや改善しているものの、他の項目と比べると低い水準で推移しています。今年度の肯定的な回答は 61.2%となっており、講座や学習活動を継続的な自主活動へ発展させることの難しさがあることがうかがえます。今後は、参加者同士の交流の場を設けることや、継続的な活動を支援する仕組みづくりなどの工夫が求められると考えられます。

また、「情報の提供」については、R01 の 2.8 から R03 には 3.2 まで上昇し、その後は 3.0 前後で推移しています。今年度の肯定的な回答は 80.6%となっており、広報誌やホームページなどを通した情報発信の取り組みが進んでいる様子が見られます。一方で、住民にとってより分かりやすく、参加につながる情報発信の方法については、引き続き工夫していく必要があると考えられます。

4 組織・運営・事務について

組織・運営・事務に関する項目では、全体として比較的高い評価で安定して推移しており、公民館運営の基盤となる体制が整っていることが分かります。

「職員相互の連携」に関する項目は 3.3～3.4 程度で推移しており、今年度の肯定的な回答は 95.5%となっています。このことから、職員同士が協力しながら業務を進めている状況がうかがえます。また、「会議」についても 3.2～3.5 の範囲で推移しており、各種会議の企画や運営は概ね適切に行われているものと考えられます。

さらに、「予算」や「事務」については 3.4～3.6 と比較的高い評価が続いており、予算の計画的な執行や文書管理などの基本的な事務処理が適切に行われていることが分かります。

一方で、「研修」に関する項目は R01 の 3.0 から R04 には 2.7 まで低下し、その後も 2.8 前後で推移しています。今年度の肯定的な回答は 71.6%となっており、他の項目と比べるとやや低い水準となっています。これは、職員が研修の必要性を感じているものの、時間や機会の確保が難しい状況もあることが要因として考えられます。

公民館は地域づくりや学習活動を支える重要な拠点であり、職員の資質向上は運営の充実につながる重要な要素です。そのため、今後は研修機会の確保や職員同士の情報共有を進めることで、組織全体の運営力の向上につなげていくことが期待されます。引き続き、「職員の資質・能力の向上」と「組織力の向上」にご尽力いただきますようお願いいたします。

「職員研修」に関するアンケート結果

■対象

- ・ 公民館の職員 計 67名

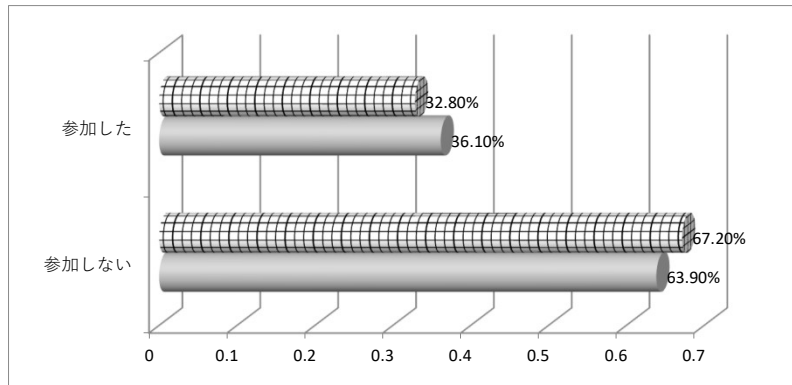
■方法

- ・ 質問紙記入（事前に質問紙を配付し、訪問時に回収）※設問により、無回答のある質問紙が複数枚あった。

■属性

〔勤務形態〕		〔性別〕		〔勤務年数〕	
・ 常 勤	46名	・ 男性	42名	・ 1 年未満	23名
・ 非常勤	21名	・ 女性	25名	・ 2 年以上～5 年未満	31名
				・ 5 年以上～1 0 年以下	9名
				・ 1 1 年以上	4名

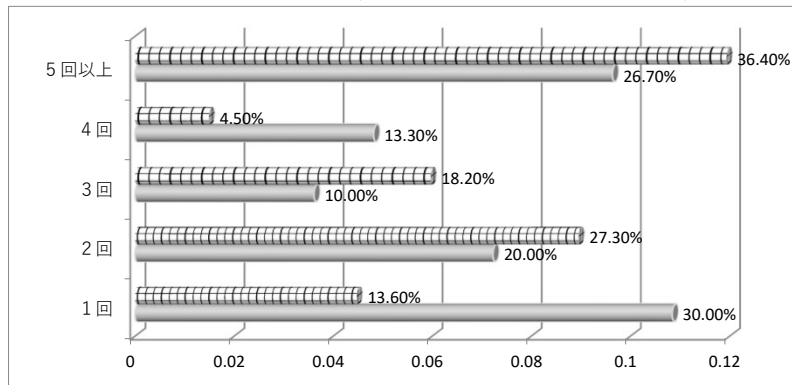
設問 1 昨年 1 年間で自分の職務に関わる研修に参加しましたか。



上段：R07

下段：R06

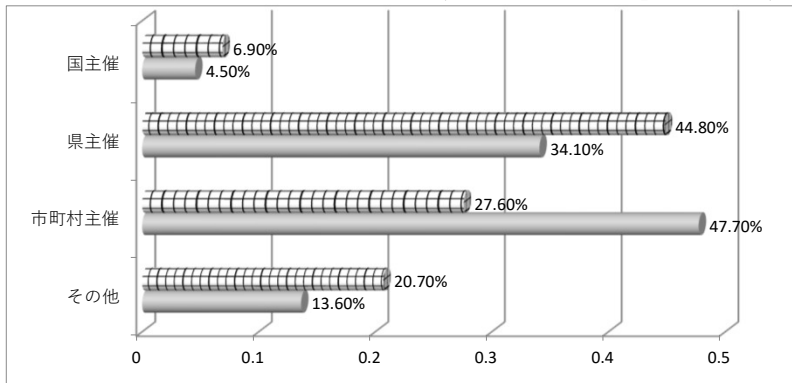
設問 2 何回研修に参加しましたか。（設問 1 で「参加した」と答えた人）



上段：R07

下段：R06

設問 3 参加した研修会の主催はどこですか。（設問 1 で「参加した」と答えた人）



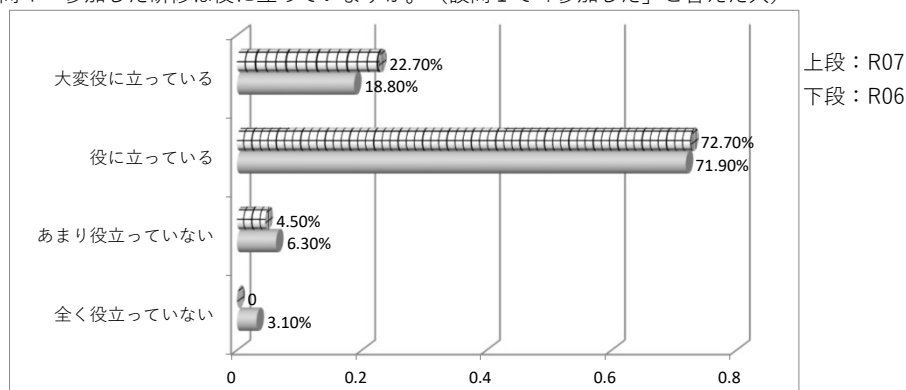
上段：R07

下段：R06

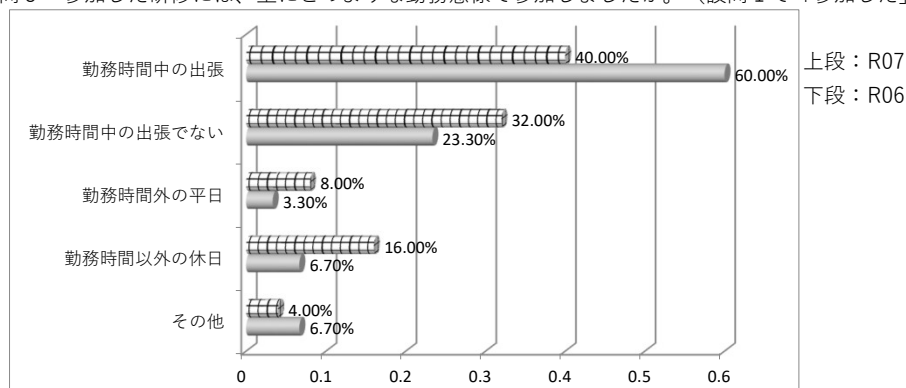
（複数回答）

- ・ 仙南公民館連絡協議会館長・職員合同研修（4）
- ・ 社会教育推進大会・協働教育研修会（3）
- ・ 県生涯スポーツ指導者研修会（3）
- ・ 社教主事研究協議会研修委員会（2）
- ・ 自治組織職員研修会（2）
- ・ 管内社会教育委員研修会（3）
- ・ 部活動地域移行研修会（2）
- ・ 文化財担当者研修会（2）
- ・ 公民館連絡協議会研修会
- ・ 仙南子連成人指導者研修会
- ・ 県学習プログラム研修
- ・ 宮城県公民館大会
- ・ 県家庭教育支援チーム連絡会議研修会
- ・ 救命救急講習
- ・ 庶務管理システム研修
- ・ 地集落支援研修会
- ・ その他

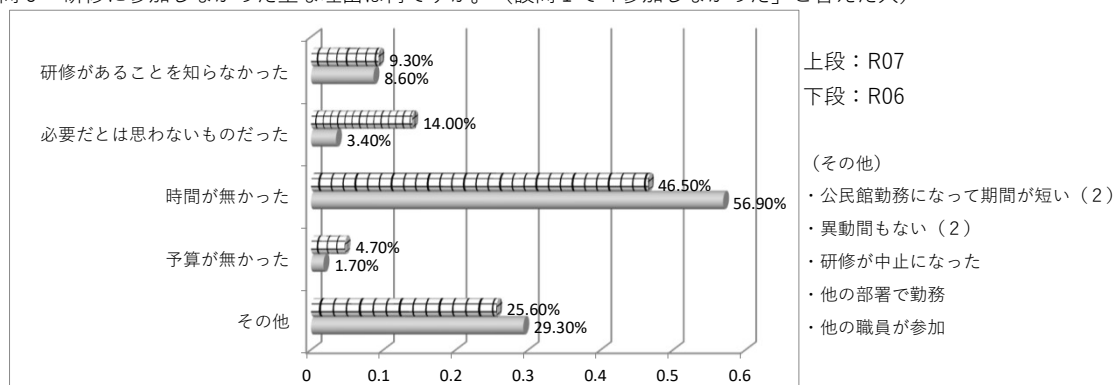
設問４ 参加した研修は役に立っていますか。（設問１で「参加した」と答えた人）



設問５ 参加した研修には、主にどのような勤務態様で参加しましたか。（設問１で「参加した」と答えた人）



設問６ 研修に参加しなかった主な理由は何ですか。（設問１で「参加しなかった」と答えた人）



設問７ どのような研修があれば参加したいですか。

- | | |
|---------------------------|---------------------------------|
| ・実技などの参加型の研修 | ・社会教育に初めて携わる職員を対象とした研修 |
| ・ニュースポーツ等体験型の実技研修会 | ・町民ニーズが多様化する中で、参加したくなる魅力ある講座づくり |
| ・他町村との交流研修 | ・社会教育施設の使用許可に関する研修 |
| ・情報発信の手法 | ・使用申請受付システム導入に関する研修 |
| ・著作権の取扱い | ・PR、SNS等、公民館としての活用法を学ぶ研修 |
| ・施設管理のポイントや気を付けること | ・広報作成について（ポスター・チラシなど） |
| ・小学校跡地の活用が成功しているところの見学・講話 | |
| ・研修内容は特にないが、参加する時間がない | |

令和7年度大河原管内

地域連携担当・社会教育関係職員等研修会

みやぎ教育応援団マッチング会議 実施要項

- 1 趣旨 管内小・中学校の地域連携担当教員及び県立高等学校の教職員、市町教育委員会社会教育担当職員、公民館等社会教育関係職員、児童生徒の教育活動を支援する各種団体等職員が「地域学校協働活動」について一層理解を深める。
企業や各種団体、NPO等と学校や各市町の関係者が情報交換をととしてネットワークを形成し、地域学校協働活動のさらなる円滑な推進を図る。
- 2 主催 宮城県教育委員会 〔主管：宮城県教育庁生涯学習課・宮城県大河原教育事務所〕
- 3 日時 令和7年6月5日（木） 午後1時15分から午後4時30分まで
- 4 会場 宮城県大河原合同庁舎 4階大会議室
〒989-1243 柴田郡大河原町字南129-1 TEL：0224-53-3111
- 5 対象
 - ・管内各小・中学校教職員（地域連携担当教員、地域連携・協働に関心がある教員）
 - ・県立高等学校教職員(特に地域との連携・協働による授業づくりを実践されている方や地域連携を通じた探究活動や授業実践等に関心のある教員及び学校関係者)
 - ・管内市町教育委員会社会教育担当職員、社会教育主事、地域学校協働活動担当職員
 - ・管内社会教育指導員、地域学校協働活動推進員(協働教育コーディネーター等)
 - ・管内公民館・生涯学習センター・自治センター等施設職員
 - ・地域学校協働活動関係者（PTA、子ども会育成会、児童館、児童センター職員等）
- 6 内容 ＊裏面に掲載
- 7 その他
 - ・各小・中学校及び各市町の社会教育関係施設等は、参加希望者を所定様式に取りまとめ、令和7年5月14日（水）までに各市町教育委員会へ提出する。
 - ・各市町教育委員会は、首長部局職員等からの参加者も確認の上、所定様式を令和7年5月21日（水）までに大河原教育事務所生涯学習担当へ提出する。提出方法は電子メール（所定様式添付）とする。
 - ・「情報交換」の時間を十分に確保しているので、必要に応じて「名刺」の持参を推奨する。併せて会場の都合上、机の配置は行わないため、クリップボード等の持参も推奨する。

6 内容

[受付]	13:00～13:15	受付場所：4階大会議室
[開会行事]	13:15～13:20	
□開会の挨拶		宮城県大河原教育事務所長 鎌田 雅博
[事例紹介]	13:20～14:00	
□「小中学校での学びが高校での探究活動にどうつながるか」 ～宮城県角田高等学校における「総合的な探究の時間」の取組から～ (話題提供)		宮城県角田高等学校 教頭 豊島 さと子 氏 角田市教育委員会生涯学習課 主査(社会教育主事) 佐藤 克宏 氏 株式会社Wasshoi Lab事業推進部 プロジェクトマネージャー 伊藤 淳 氏
[情報交換]	14:00～14:40	
□「これからの地域学校協働活動を充実させるために」 ※4人程度の設定されたグループに分かれ、参加者同士が情報交換を行う。		
[休憩]	14:40～14:50	
[体験]	14:50～15:10	
□「みやぎ教育応援団事業を体験しよう～川上産業の環境教育～」 (講師)		川上産業株式会社 リサイクル事業部サステナブル推進2課 長澤 瞭 氏 ※みやぎ教育応援団員の支援内容が想起できるような実例を体験する。
[説明]	15:10～15:15	
□「みやぎ教育応援団事業について」		宮城県教育庁生涯学習課協働教育班
[交流・情報交換]	15:15～16:15	
《交流・情報交換について》		
・みやぎ教育応援団員のブースを参加者が自由に移動し、参加者と応援団員とが交流・情報交換を行うことでネットワークの構築を図る。		
・同じ立場や異なる立場の参加者同士が自由に語らい、積極的な情報交換をとおして交流を深め、新たな関係性を構築する。		
・事例紹介で話題提供していただいた角田高等学校の探究活動に関するブースも設置し、より具体的な内容等について質疑応答ができるようにする。		
[閉会行事]	16:20～16:30	

令和7年度 大河原教育事務所管内

地域連携担当研修会

兼「みやぎ教育応援団」マッチング会議

6月5日（木）、大河原合同庁舎を会場に地域連携担当研修会兼「みやぎ教育応援団」マッチング会議を開催しました。今年度の研修会は、前半に話題提供及び情報交換、後半に応援団支援体験及びみやぎ教育応援団との交流・マッチングの2部構成で行いました。

前半の話題提供では、角田高等学校 教頭 豊島 さと子 氏、角田市教育委員会生涯学習課 主査(社会教育主事) 佐藤 克宏 氏、株式会社Wasshoi Lab事業推進部 プロジェクトマネージャー 伊藤 淳 氏の3名の方を講師としてお迎えし、「小中学校での学びが高校での探究活動にどうつながるか」と題して、角田高等学校における「総合的な探究の時間」の取組をもとに、それぞれの立場から見える連携・協働に欠かせない視点について、具体的に分かりやすくお話しいただきました。また、情報交換においては、「これからの地域学校協働活動を充実させるために」と題して、グループワークを行いました。校種や立場、自治体が同じ方同士、異なる参加者同士とグループ編成を変えながら、各校で取り組まれている活動の紹介を通して、これからの地域学校協働活動を充実させるためにどのようなことが考えられるか、活発な意見交換が行われました。



○話題提供「小中学校での学びが高校での探究活動にどうつながるか」（参加者の声）

- ・他校種の実践から、小中高で系統性を持たせたり、内容の濃淡を考えたりすることが大切だということに改めて気付くことができました。また、行政や地域のバックアップの体制を構築し、情報共有するための手掛かりを得ました。
- ・探究に関する進め方を学ぶことができました。また、理論だけでなく実践事例をたくさん聞いたことも参考になりました。
- ・地元角田市近郊の高校、行政、企業での事例だったので、勤務校の地域連携の活動とも照らし合わせ、参考にできる活動をイメージして聞くことができました。
- ・高校での総合的な探究の時間がどのようにされているのか、また、それに関わる行政・地域の在り方など、とても深く学べる話題提供でした。
- ・行動力を養うための指導が行政と学校でしっかりと目的が共有された上で行われていると思いました。

○情報交換「これからの地域学校協働活動を充実させるために」（参加者の声）

- ・情報交換では、学校側で地域連携についてどう感じているか生の声が聞け、行政としての関わり方を改めて考えさせられる機会になり良かったです。
- ・同じ角田市内および管内の皆様との情報交換ができ、共通の話題でお話しできたことが特に良かったですと思います。それぞれの立場での強み、また、悩みも共有できたので大変貴重な機会になりました。
- ・今回で4回目の参加となりましたが、土地柄によるニーズの違いなどが感じられて勉強になりました。
- ・別の市町村での取組を知り、現在勤務している町や学校においても、実践できそうな話や有意義な情報交換を行うことができました。
- ・普段、資料でしか知ることのできない情報の他にも、実際にお話しして、小学校教育に役立つ授業提供や資料等をいただくことができました。

後半には、応援団支援体験として、川上産業株式会社 リサイクル事業部サステナブル推進2課 長澤 瞭 氏より、小学校4年生を対象にした環境教育を想定し、梱包に際に利用される通称「プチプチ」を活用しながらの出前授業をご提案いただきました。参加した皆様は実際にプチプチに触れ、環境教育について楽しみながら学ぶ姿が見られました。その後、みやぎ教育応援団の皆様との交流・マッチングが行われました。参加した皆様は、学校や地域の実態を踏まえつつ、応援団の力をお借りしてどのような教育活動が展開できるのかについての意見交換を行いながら、学びのネットワークをさらに広げていました。



○応援団支援体験「川上産業の環境教育」及び「みやぎ教育応援団」交流マッチング（参加者の声）

- ・子供が経験を通して学んできた「リサイクル」のイメージを更に広げることができる授業だと思いました。プチプチ2種類を体験できるのも魅力的だと思います。
- ・普段何気なく使っている資材に対して、子供たちも愛着をもつことや、どのような人や企業が関わっているかを知るためのとても良い活動だと感じました。
- ・出前授業をどのように行っているのかと考えながら聞きましたが、応援団の皆様も大変工夫されていると思いました。学校との連携により、実りある出前授業になっていくのだろうと感じました。
- ・地域にたくさんの応援してくださる方々がいらっしゃる事が分かり、今後、支援をいただくためのつながりを得られたのが良かったです。
- ・先生方同士で交流できる時間や企業の皆様にお声掛けできる機会は少ないのでとても有意義な時間となりました。

大河原管内公民館等一覧

		公民館等名	郵便番号	所在地	電話番号	F A X
1	白石	1 白石市中央公民館	989-0206	白石市字寺屋敷 2 5 - 6	0224-26-2453	24-5377
2		2 白石市越河公民館	989-0111	白石市越河五賀字南原 2 - 1	0224-28-2101	28-2561
3		3 白石市斎川公民館	989-0216	白石市斎川字新町尻 3	0224-25-2701	25-6128
4		4 白石市大平公民館	989-0216	白石市大平中目字西田 7	0224-25-2338	25-2338
5		5 白石市大鷹沢公民館	989-0213	白石市大鷹沢三沢字 5 - 4 8	0224-25-2711	25-6447
6		6 白石市福岡公民館	989-0232	白石市福岡長袋字陣場ヶ丘 1 2 - 2	0224-25-2249	25-2249
7		7 白石市深谷公民館	989-0731	白石市福岡深谷字南沖 2 1	0224-24-4540	24-4590
8		8 白石市小原公民館	989-0233	白石市小原字中北前田 3 - 2	0224-29-2031	29-2900
9		9 白石市白川公民館	989-1102	白石市白川津田字内堀 6 - 1	0224-27-2101	27-2517
10	角田	1 角田自治センター	981-1505	角田市角田字牛館 1 9 - 5	0224-63-2224	63-5559
11		2 横倉自治センター	981-1512	角田市横倉字杉の堂 4 0	0224-62-2314	63-5357
12		3 小田自治センター	981-1514	角田市小田字福田 8 0	0224-62-4292	62-4292
13		4 枝野自治センター	981-1504	角田市島田字光畑 5 7 - 1	0224-63-2141	63-5358
14		5 藤尾自治センター	981-1502	角田市尾山字五反田 1 9 8	0224-63-2131	61-1055
15		6 東根自治センター	981-1533	角田市平貫字土浮 1 0 2	0224-69-2111	69-2410
16		7 桜自治センター	981-1522	角田市佐倉字裏一番 1 5 5	0224-63-2142	63-5360
17		8 北郷自治センター	981-1524	角田市岡字阿弥陀入 3 3 - 1	0224-68-2111	67-1055
18		9 西根自治センター	981-1516	角田市高倉字本町 1 5	0224-65-2111	67-3001
19	蔵王	1 蔵王町公民館	989-0821	蔵王町大字円田字西浦 5	0224-33-2018	33-2019
20		2 蔵王町宮地区公民館	989-0701	蔵王町宮字町 2 1	0224-32-2311	32-2341
21		3 蔵王町平沢地区公民館	989-0831	蔵王町大字平沢字内屋敷 1 4 - 1	0224-33-2220	33-2220
22		4 蔵王町遠刈田地区公民館	989-0916	蔵王町遠刈田温泉字北山 1 8 - 1	0224-34-2331	34-2376
23		5 蔵王町永野地区公民館	989-0821	蔵王町大字円田字西浦 5	0224-33-2018	33-2019
24		6 蔵王町円田地区公民館	989-0821	蔵王町大字円田字堀の内 4	0224-33-2332	33-2407
25	七ヶ宿	1 七ヶ宿町公民館	989-0512	七ヶ宿町字関 1 2 6	0224-37-2195	37-2203
26	大河原	1 大河原町中央公民館	989-1241	大河原町字町 1 9 6	0224-53-4050	53-4051
27		2 大河原町金ヶ瀬公民館	989-1224	大河原町金ヶ瀬字原 8 8	0224-52-6635	52-6736
28	村田	1 村田町中央公民館	989-1305	村田町大字村田字西田 2 8	0224-83-2023	83-3385
29		2 村田町沼辺地区公民館	989-1321	村田町大字沼辺字学校前 6 2	0224-52-1644	52-6444
30		3 村田町小泉地区公民館	989-1302	村田町大字小泉字古館 1 - 2		
31		4 村田町姥ヶ懐地区公民館	989-1302	村田町大字小泉字朮石 2 9		
32		5 村田町菅生地区公民館	989-1301	村田町大字菅生字宮根 5 9	0224-83-2301	83-5778
33		6 村田町西足立地区公民館	989-1311	村田町大字足立字明神 9 3		
34		7 村田町東足立地区公民館	989-1311	村田町大字足立字岫 1 3		
35	柴田	1 船岡生涯学習センター	989-1612	柴田町大字中名生字西宮前 4 9	0224-59-2520	59-2580
36		2 槻木生涯学習センター	989-1752	柴田町槻木下町 3 - 1 - 6 0	0224-56-1997	56-1997
37		3 船迫生涯学習センター	989-1622	柴田町西船迫 3 - 3 - 1 0 4	0224-57-2011	57-2173
38		4 船岡公民館	989-1731	柴田町船岡東 1 - 2 - 6 5	0224-55-2023	54-1420
39		5 船迫公民館	989-1731	柴田町東船迫 1 - 8 - 1	0224-56-5128	56-5135
40		6 西住公民館	989-1606	柴田町大字船岡字大住町 1 3 - 1	0224-52-4101	52-4101
41	川崎	1 川崎町公民館	989-1501	川崎町大字前川字裏丁 1 7 5 - 2	0224-84-2111	85-1026
42	丸森	1 丸森まちづくりセンター	981-2152	丸森町字鳥屋 1 2 0	0224-72-1683	72-4201
43		2 金山まちづくりセンター	981-2402	丸森町金山字下前川原 1 7	0224-78-1121	73-7006
44		3 筆甫まちづくりセンター	981-2201	丸森町筆甫字和田 8 0 - 2	0224-76-2111	73-6008
45		4 大内まちづくりセンター	981-2501	丸森町大内字横手 8 2 - 1	0224-79-2004	73-3008
46		5 小斎まちづくりセンター	981-2401	丸森町小斎字山崎 6 3	0224-78-1111	73-7007
47		6 館矢間まちづくりセンター	981-2102	丸森町館矢間館山字大門 1 4 8 - 1	0224-72-2120	73-1036
48		7 大張まちづくりセンター	981-2301	丸森町大張大蔵字川前 3 9 - 1	0224-75-2124	73-5008
49		8 耕野まちづくりセンター	981-2303	丸森町耕野字小屋館 7 - 4	0224-75-2134	73-5007